

河北リハビリテーション病院

住所：〒166-0013 東京都杉並区 3-19-18
TEL：03-5307-5151



リハビリテーション科医師(令和元年9月現在)

責任者：院長補佐・専門医・指導医 宮村紘平 (慈恵 H16 卒)

回復期リハビリテーション病床：135 床

理学療法士 66 名，作業療法士 18 名，言語聴覚士 11 名



責任者からのコメント

すべての患者さんと家族は、これからの生活への大きな不安を抱えながら転院されてきます。リハ医は疾病や障害に対するアプローチと同時に、個々の抱える生活背景や価値観にに応じて患者さんの社会復帰をマネジメントすることが求められます。地域リハビリを支えるリーダーとして、多くのオーダーメイドのリハ医療の実践に必要な知識と経験を積んで頂けたらと思います。

研修病院としての特徴

1. 当院の特徴

135床の回復期病床を有し杉並区内の地域リハビリ医療の中心的役割を担っています。常勤の脳外科、整形外科、神経内科医の各専門医と連携の元、多彩、多重な障害を有する患者に対し、その時に必要な最適なりハビリテーション医療の提供ができるリハビリ専門医を育成することを目標としています。脳卒中、脊髄損傷、整形疾患、高次脳機能障害者の復職支援等を中心に幅広い疾患を経験することが可能です。また、東京都や杉並区の委託事業を通して地域におけるリハ医の役割を学ぶことができます。

2. 当院の雰囲気

リハビリテーション医療ではリハビリ医がチームリーダーとなり、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・ソーシャルワーカーといった関連職種との連携が不可欠です。当院は若いスタッフが中心ですがアットホームな雰囲気の中、各職種が切磋琢磨して研鑽を積んでいます。

3. 地域に根差した一貫性のあるリハビリテーション

河北医療財団内の河北総合病院本院を中心に家庭医療学センター（訪問診療）、シーダウォーク（老健）、河北前田病院（療養）、河北健診センターや地域かかりつけ医と連携しています。急性期、回復期、生活期において各施設が連携の元、地域完結型のリハビリに貢献しています。

最後に

退院後の患者さんや家族の様子を、顔なじみのケアマネや福祉担当者から教えてもらう機会が多くあります。地域で患者、家族を支える地域リハ医療の現場がここにあります。